

検討の概要

○各学校の増築の可能性について

統合小学校とする場合、教室を確保するため増築が必要となることから、4小学校について増築する部分の各学校の増築の可能性について、優位性・課題について検討を行いました。

【委員意見】

中浦小学校	<ul style="list-style-type: none"> 増築部分も含め航空写真を見る限り敷地内にきれいに配置できる。 当初から増築を想定した構造になっており、増築が容易にできる。
天王小学校	<ul style="list-style-type: none"> 航空写真を見る限り、校舎の位置の関係から増築はスペースが確保できない。 校舎を増築しても駐車台数が30台では少ない。 増築予定地の裏に隣接する、安寿様（真禅寺）との間に、十分なスペースが確保できない。 新しくユニークな校舎ではあるが、校舎が狭い。
荒橋小学校	<ul style="list-style-type: none"> 航空写真を見る限り、校舎の位置の関係から増築は難しい。 農業用水もあり、増築スペースが取れないのではないかと。
本田小学校	<ul style="list-style-type: none"> 増築部分も含め航空写真を見る限り敷地内にきれいに配置できる。 増築を想定した造りになっており、構造物自体は問題ない。 増築案では駐車場からグラウンドへ出る通路が確保できるか。 増築案では隣地との境界十分なスペースを確保するのが難しいのではないかと。

【質疑】

- Q) 中浦小学校において、現状の敷地では不足することとなった場合、新たに隣接地を購入することは可能か？
 A) 土地を追加して求めるということについては、現時点ではお答えできない。
- Q) 天王小学校が一番新しく改築されているが、その時点では増築は考慮させていなかったのか？
 A) 構造上、増築は考慮されていない。
- Q) 今は通学支援については考えなくても良いのか？
 A) 次の段階での検討になると思うが、校舎はなるべく地域の中心にあった方が子どもの登校時間を考えると望ましいのではないかと。

○通学支援について

統合小学校の開校により、自宅から学校までの通学距離や時間など通学環境がかわってしまう児童に対する支援の在り方について検討を行いました。

【委員意見】

委員	教育委員会
通学支援は距離だけの問題ではなく、現在でも本田小学校の滝沢地区では、通学路が阿賀野市方向からの抜け道となっており危険であり通学支援が必要。	通学支援については、距離要件の他、安全上の問題等十分に考慮していく。
通学路には危険箇所がいくつもあることを踏まえ、子どもたちの安全を最優先に検討してもらいたい。	登校時は複数人だが、下校時には低学年の児童が一人で帰るといったケースも出てくることも考えられるため、地区によっても状況は異なってくる。また地形的な問題や猿・熊の出没の危険性を考慮し通学支援を行っている実績もある。

【質疑】

- Q) 通学バスは保護者の負担なしに、全額市が負担するのか？
 A) コミュニティバスが走っている地区では、基準よりも距離の近い児童が乗車賃を支払って乗っているケースもあるが、基本的には無料。
- Q) 具体的な検討は統合がある程度固まってからなのか？
 A) そのとおり。次の段階で具体的に検討することとなる。

○検討委員会の任期について

各選出団体によって任期が異なりますが、豊浦地区自治会の役員任期が平成29年3月31日までであるため、本検討委員会委員の任期は、3月31日までとしました。これにより各選出団体の役員任期がその前に終了した場合でも、3月31日までは本検討委員会委員としてお願いすることとしました。

○検討委員会の役割について

本委員会の役割は、市から「小学校統合について市はこう考えているが、地域のご意見はどうですか」という問いかけに、豊浦地域の望ましい教育環境の実現に、何が一番大切なのか地域の代表者として意見を出す場であり、統合小学校をどこにするか、いつ統合するかなど決定する議決機関ではないことを再確認しました。

市（教育委員会）が、この検討委員会から出された意見・要望などを踏まえて最終的に決定します。

中浦小学校



天王小学校



荒橋小学校



本田小学校

